2023 年 9 月 11 日

2023年度第1回 ＥＣＣコンピュータ専門学校関係者評価委員会報告書

学校法人山口学園 ＥＣＣコンピュータ専門学校関係者評価委員会は、2023年8月23日に「2022年度自己評価報告書」に基づいて、学校関係者評価委員会を実施しましたので、報告致します。

学校法人 山口学園
ECC コンピュータ専門学校
学校関係者評価委員会

１　開催日時：2023 年 8 月 23 日（水）18:30～20:30
２　場　　所：ＥＣＣコンピュータ専門学校　（教室）
３　参加者　：

〇関連業界等関係者 2 名	**【インフォームシステム株式会社　伊藤 裕一】（司会）**
	【株式会社アコードセブン　野間 伸治】
〇卒業生 2 名(関連企業)	**【ヤフー株式会社　小橋 勇太】**
	【株式会社 SNK　谷 優】
〇高等学校関係者 1 名	**【高校教員　貴治 康夫】**
〇地域関係者 1 名	**【済美地域社会福祉協議会　中上 隆】**
〇学校関係者	**【学校長　納谷 新治】**
	【副校長・教務課責任者　伊澤 幸徳】
	【キャリアセンター責任者　池田 宗人】
	【入試課責任者　月嶋 彦晴】
	【広報課　岸 岳澄】（書記）

▷学校関係者評価委員会開会にあたってのご挨拶

（伊藤）

基準1～2、3～5、6～10の3部展開で進めていきます

質疑応答につきましても、基準ごとではなく各部の報告終了ごとにお願いいたします

自己評価報告書に関してはここから

▷2022年度自己評価報告書の説明と質疑応答

基準１　教育理念・目的・育成人材像

（納谷）

教育理念の「国際力」の箇所を変更しました。

英語学習という側面から、異文化コミュニケーションと多様性の理解により、ゲーム・IT 業界のグローバル化に適応する力を身に付ける、という方針にしております。

「人間力」育成の方法について、IT カレッジ 3・4 年制の 1 年次に初年次教育を導入しました。

初年次教育ではビジネス新人研修の手法を導入し、主体性や目的意識、他者理解を学びました。

基準 2　学校運営

（納谷）

進路指導課をキャリアセンターに変更しました。

ゲーム・IT カレッジの各分野において責任者・副責任者を増員し、多岐にわたる業務への対応や教員内での意見発信を行いやすい環境づくりを推進しております。

（伊澤）

学園全体でシステムが統一されている為、本校のみでシステム関連の対応ができない点が課題です。

質疑応答

質問（伊藤）

初年次教育は単位認定に入りますか？

また、能力別クラスでの実施を行っていますか？

回答（納谷）

単位認定しています。

また、複数クラスのあるコースでは、入試の成績や出身高校等でクラスを分けております。

質問（貴治）

ＩＴカレッジ 3・4 年制以外でも初年次教育を行う予定はありますか？

回答（伊澤）

現在では留学生対象クラスを除いた 1 年次クラスで実施しています。

基準 3　教育活動

（伊澤）

学校行事やイベントはコロナ以前と同規模で行える状況に改善しました。

コンテストでも下記の通り、多数入賞を果たしております。

・日本ゲーム大賞アマチュア部門　佳作

・若年者ものづくり競技大会　web デザイン部門　銅賞

・全国専門学校セキュリティコンテスト　3 位

入学者の属性は多様化しており、留学生、通信制高校出身者が増加傾向です。

教員不足が課題であるが、卒業生の積極的採用を促進しております。

基準 4　学修成果

（伊澤）

就職内定実績は好調で、ゲーム・ＣＧ業界 96 名、一部上場ＩＴ企業 51 名が内定しました。

資格取得については、近年のカリキュラム変化により、合格者数が増加という傾向はでておりません。

卒業生交流会を 2023 年 2 月に 3 年ぶりに実施し、105 名が参加しました。

また、卒業生とのつながりが教員採用に繋がっています。

企業連携授業についても、35 社による講演、作品講評、会社見学、インターンを行いました。

初の試みとして、他業界である総合商社の双日株式会社と半年間のインターンを実施いたしました。

学内企業会を 190 社実施し、ゲーム・ＩＴ業界による人材採用の高い関心をいただくことができました。

基準５　学生支援

（伊澤）

オンライン採用面接対策としてテレキューブを５台購入しました。

経営情報学専攻の設立で休退学者をある程度防止しております。

上級生による下級生指導制度であるピアサポート制度では 23 名の学生が活動中です。

留学生の増加に伴い、留学生指導経験の豊富なスタッフを中心にスタッフ全員の留学生業務知識が向上。

保護者会を年２回実施しており、毎回約４割の保護者様にご参加いただいております。

質疑応答

質問（貴治）

経営情報学専攻の授業内容を教えてください

回答（伊澤）

専門的なプログラム言語の学習は行わず、ローコード・ノーコードを利用したＩＴ活用人材としての学習を行います

質問（伊藤）

経営情報学専攻で就職できますか？

回答（池田）

カスタマーサービスや、一般企業の社内エンジニアなど就職先はあります。

質問（伊藤）

経営情報学専攻のクラス人数は増加見込みですか？

回答（伊澤）

現在も増加中で、3 学年合わせて、50～60 名規模の専攻になる可能性はあります。

質問（貴治）

卒業生の採用において、卒業生のキャリアはどの程度必要ですか？

回答（納谷）

ゲーム・ＩＴ業界で３年以上の勤務経験が望ましいと考えています。

質問（小橋）

通常コースと経営情報学専攻の間のレベルのコースは作れないですか？

回答（伊藤）

就職を考えると、中間レベルのコース設立は難しいと感じます

質問（谷）

経営情報学専攻に転科する学生は、どのような入試形態で入学した学生が多いですか？

受験を早く終わらせたいという理由からＡＯ入試で入学した学生は学習意欲が低い傾向にありませんか？

入試形態と転科学生の分析データがあれば、現在とは違う角度から対応が可能だと感じます。

回答（伊澤）

調査いたします。

基準６　教育環境

（伊澤）

高等部学生の優先校舎として５号館を新設。

1 号館を建て替え中で、2024 年下旬に竣工予定です。

コロナ収束に伴い、東京ゲームショウ、CEATEC の見学ツアーを再開しました。

基準 7　学生の募集と受け入れ

（月嶋）

コロナ収束とともに、オープンキャンパスはオンラインより来校需要が高まりました。
また、オンラインメディアで簡単に学校情報を得られる時代であるため、本校では他校との差別化をより重要視し、情報提供の質を高めていきます。

基準 8　財務

（納谷）

財務基盤は安定しているが、学生数の減少に伴って、経費見直しと削減を実施しました。
ただし、教育の質や学習環境を低下させないため、専任教員とスタッフへの人件費削減は行っておりません。

基準 9　法令等の遵守

（納谷）

公益通報・相談窓口、ハラスメント相談窓口の設置および告知を行い、問題の早期発見と対応可能な体制を構築しました。また、MS 365 のアカウント乗っ取り事案が発生したため、多要素認証を学園全体で導入しました。

基準 10　社会貢献・地域貢献

（納谷）

コロナ収束とともにボランティア活動を徐々に再開することができました。
大阪駅付近の道案内や大阪城トライアスロンの給水など本校のみならず、姉妹校も含めて参加できたことを、大変うれしく思います。

質疑応答
特になし

自己評価報告書に関してはここまで

▷感想

感想（谷）

自身の在学中より教育面、環境面が改善されていると感じます。

感想（小橋）

教育内容は改善されているように感じます。
コロナも収束し、学生募集の戦略なども変わってくると思いますので、今後の動向は気になります。
また、話題の ChatGPT をどのように教育現場で活用するかも注目しています。

感想（野間）

交流会などコミュニケーションの機会が多数あるのは、コロナ期間中に人と出会えなかった反動もあるので、学校生活にとっては非常にプラスだと思います。

感想（貴治）

コロナ収束とともに、どのように学校展開を行うかは非常に重要になると思います。

感想（中上）

学生の地域行事やボランティアへの参加は今後もぜひ増えてほしいです。

また、中崎町だけでなく地元に戻られた際にも、自分の町のために活動してほしいです。

感想（伊藤）

高等部学生に将来像をイメージさせるためにも、専門学生との交流の機会は増やし欲しいと感じます。

▷閉会のご挨拶と今後の予定

（伊澤）

第 2 回は 2024 年度 2 月初旬を予定しております。

以上